



子どもたちとまちづくりに関して意見交換をする山田復興支援事務所の中平

子どもの権利の実現を目的とする国際子ども支援団体（NGO）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、岩手県山田町で、2011年7月に子どもまちづくりクラブ「けっぱれ山田Toekomst」（通称KYT）を子どもたちとともに立ち上げ、復興に子どもたち自身が参加し、子どもたちの意見を反映する取り組みをしている。


2012年は子どもたちが地域の方々にインタビューをして、復興に対する意見や思いを集めた。また、2013年2月には、UR都市機構山田復興支援事務所の中平眞裕がアドバイザーとして招かれ、まちづくり計画の説明を行い、意見交換も実施した。

現在、山田町では「コンパクトシティ構想」（旧JR山田駅周辺の中心市街地を復興と活性化のシンボルとして、生活に必要な施設や機能を集約し、お年寄りから子どもまで歩いて暮らせるまちづくり）を進めている。それに対してKYTメンバーが中心となり、地域の子どものたちや大人の方々からもアイデアを募り、未来の山田町を思い描き提案していく「ドリームコンパクトシティプラン」（DCCP）を作成した。4月末には町役場にて手づくりの模型とともに、そのアイデアをプレゼンテーションした。

「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンWEBサイト」 

<http://www.savechildren.or.jp/index.html>

「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

東日本大震災/子どもにやさしい地域づくりWEBサイト」 

http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=1119